Chief ラージフラットパネルディスプレイ壁取付金具

GTU-210S

組立･設置説明書

このたびは、ユニバーサルタイプのラージフラットパネルディスプレイ用壁付け金具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この説明書をよくお読みのうえ、正しく設置下さい。

輸入発売元 AVC 株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.



重要なお知らせと注意

- 人の危険が想定される場所の取りつけはしないで下さい。
- ディスプレイを取りつける面には、ディスプレイとブラケットの合計重量の 5 倍の強度に耐えられるように、必要に応じて取りつける周囲の背面に補強を入れるなどして、脱落や落下に注意をして下さい。
- GTU-210S ブラケット本体の耐荷重は 79.38kg(175lbs)です。組み合わせるディスプレイの重量を確認して下さい。
- 突起物や可動部などで手指を痛めないように注意して下さい。
- GTU-210S ブラケットは正しい方向で設置して下さい。
- 開封されましたら、内容物が揃っているかお確かめ下さい。万一欠品がありましたら販売店までお知らせ下さい。
- 取りつけるディスプレイによっては付属のネジでは長さが合わないことがあります。この場合はディスプレイの製造メーカーにお尋ねになり、正しいサイズのネジを別途お求めください。間違ったサイズのビスを使用しますと、脱落やディスプレイの故障につながり危険です。

目 次

取り付けに必要な工具について--- 2
GTU-210S パーツリスト--- 3
GTU-210S 実体図 --- 4
組み立てる前に--- 5
ディスプレイにブラケット本体を取りつけるには---------------------------------- 6
壁用プレートを取りつけるには--- 6
ディスプレイを取りつけるには--- 7
お問い合わせ先 -- 7

取り付けに必要な工具について

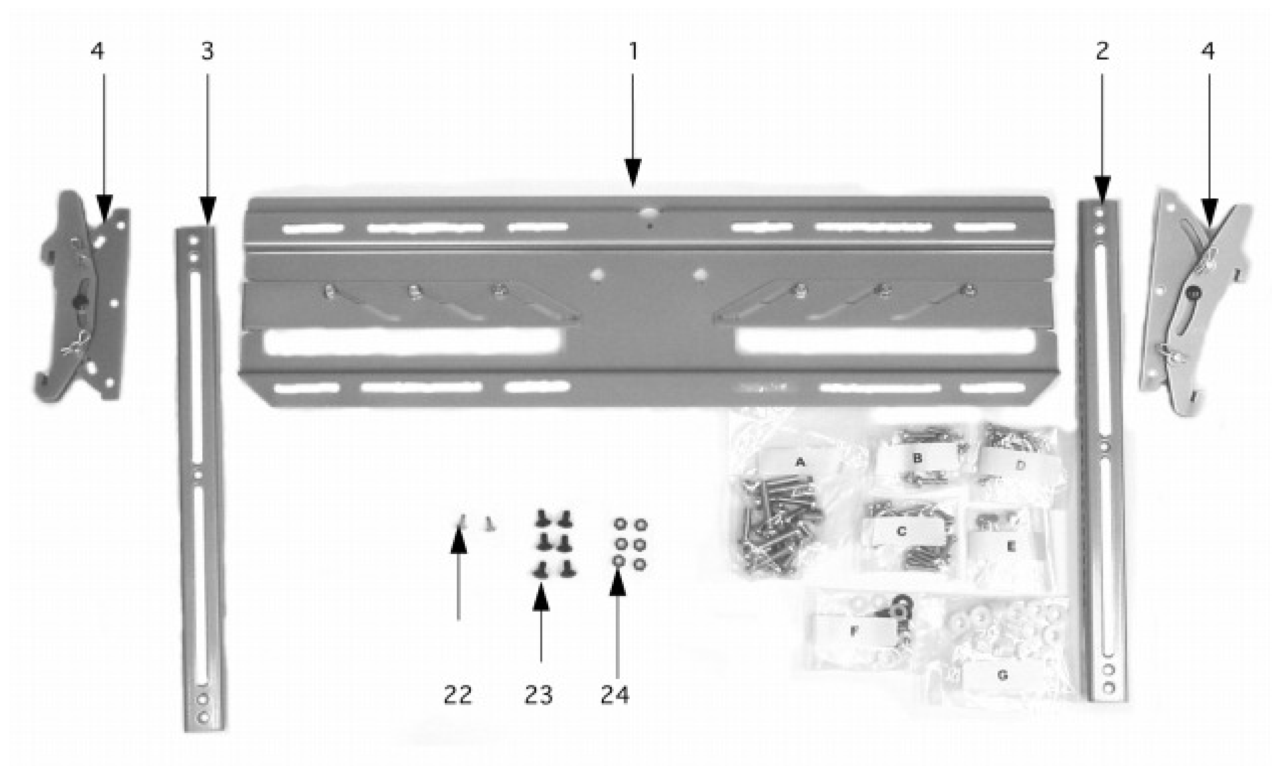
取りつけ場所によっては他の工具が必要になることがありますが、適宜ご準備ください。

- No.1 および No.2 ＋ドライバー
- 電動ドリルおよびドリルビット
- レンチセット
- 壁面の構造に合ったボルトアンカー類

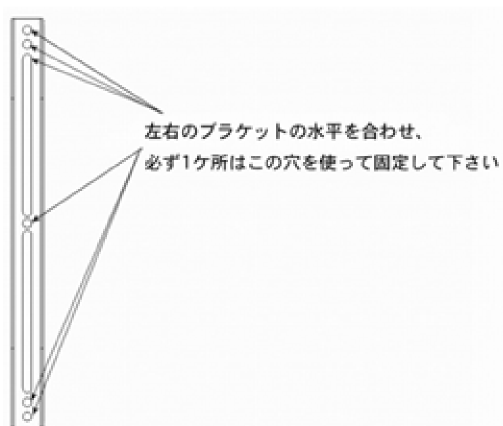
GTU210S パーツリスト

番号	種類	色･種類	入数
1	本体プレート (2 ラッチ金具取り付け済み)	シルバー	1
2	ブラケット、インターフェイス 右	シルバー	1
3	ブラケット、インターフェイス 左	シルバー	1
4	ブラケット、チルトアセンブリ	シルバー	2
5	M8×20mm ナベネジ (パーツバッグ”A”)	ニッケル	6
6	M8×30mm ナベネジ (パーツバッグ”A”)	ニッケル	6
7	M8×45mm ナベネジ (パーツバッグ”A”)	ニッケル	6
8	M6×25mm ナベネジ (パーツバッグ”B”)	ニッケル	8
9	M6×16mm ナベネジ (パーツバッグ”B”)	ニッケル	8
10	M5×16mm ナベネジ (パーツバッグ”C”)	ニッケル	8
11	M5×20mm ナベネジ (パーツバッグ”C”)	ニッケル	8
12	M5×25mm ナベネジ (パーツバッグ”C”)	ニッケル	8
13	M4×16mm ナベネジ (パーツバッグ”D”)	ニッケル	8
14	M4×20mm ナベネジ (パーツバッグ”D”)	ニッケル	8
15	M4×25mm ナベネジ (パーツバッグ”D”)	ニッケル	8
16	#10、平ワッシャ (パーツバッグ”E”)	ニッケル	8
17	1/4”、平ワッシャ (パーツバッグ”F”)	ニッケル	8
18	1/4”、スペーサー (パーツバッグ”G”)	ナイロン	8
19	1/2”、スペーサー (パーツバッグ”G”)	ナイロン	8
20	内径 5mm、ショルダーワッシャ (パーツバッグ”E”)	ナイロン	8
21	内径 8mm、ショルダーワッシャ (パーツバッグ”F”)	ナイロン	8
22	タッピングネジ	ニッケル	2
23	キャリッジボルト (六角頭ボルト)	黒	6
24	1/4”-20mm ナイロンロックナット	ニッケル	6

GTU210S 実体図

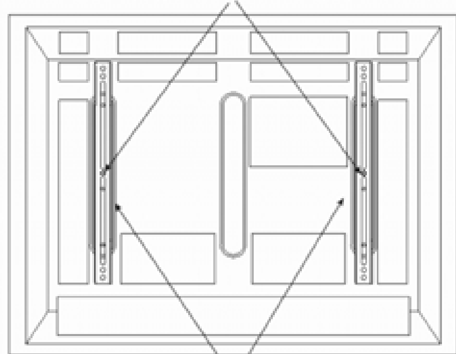


組み立てる前に



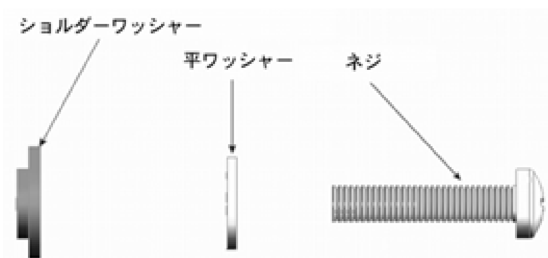
梱包を開梱して、部品の欠品や輸送中のダメージがないか確認して下さい。

ディスプレイにブラケット本体を取りつける

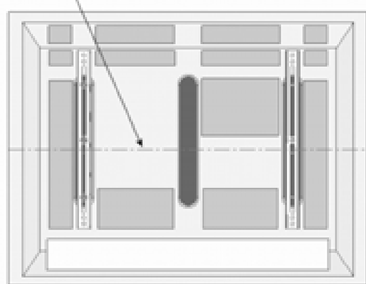


下記の手順でインターフェイスブラケットを取りつけます。

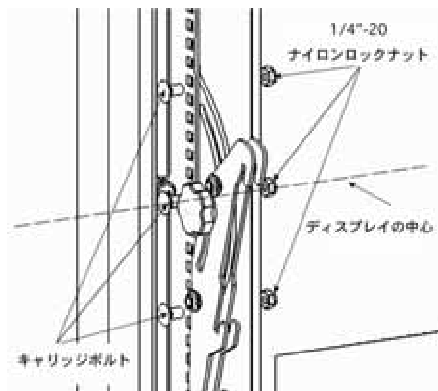
1. インターフェイスブラケットをディスプレイ背面の取りつけボルトの位置にあてがってください。ディスプレイにはインターフェイスブラケットの丸穴と、長穴を利用してビスで取りつけますが、なおかつ四角い穴のいずれかがディスプレイの中心を通るように配置します。ディスプレイの取りつけボルト部分がくぼんだタイプのディスプレイでは、スペーサーを介して「かさあげ」して取りつけます。四角い穴は通常、ディスプレイに取りつけたとき内側を向くようにセットしますがディスプレイのビスの間隔が 22cm 以下の場合は外側を向くようにセットして下さい。



2. ナイロンスペーサーやショルダーワッシャーはディスプレイとブラケットを電気的に絶縁するために使用します。M6 や M8 ビスを使用して固定するディスプレイでは必要に応じてスチールワッシャーを介して、M4 や M5 ビスを使用して固定するディスプレイではそのまま取りつけます。



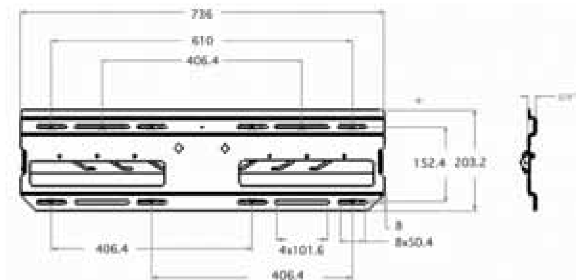
3. ディスプレイのセンターラインを再度確認しておきます。



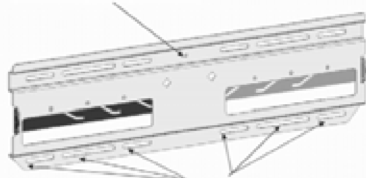
4. インターフェイスブラケットに(3)の固定フックを取りつけます。このとき、固定フックの中央のビス穴位置はディスプレイのもっとも中央付近にあるインターフェイスブラケットの四角い穴に合うように取りつけます。四角い穴の方に(22)のキャリッジボルトを、固定フック側に(23)のナイロンロックナットを用いてしっかりと取りつけます。固定フックの角度調整はフラットにしてノブはしっかり締めこんだ状態にしておいてください。

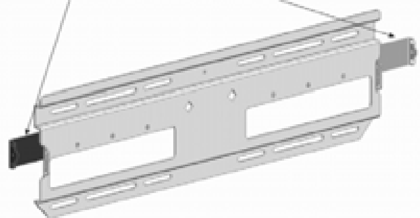
壁プレートの取りつけ

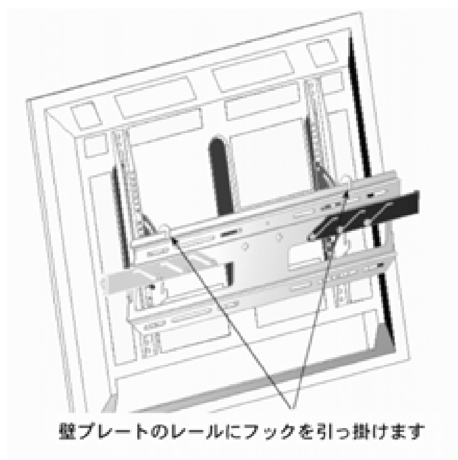
取りつける場所はブラケットを含む取り付ける機器のすべての重量の 5 倍の荷重に耐えられるように、必要に応じて補強工事をして下さい。なお、文中で解説しているボルトアンカー類は付属しませんので壁の構造に応じた工法を用い、壁面と壁プレートのボルト固定は少なくとも上の列に 2 ヶ所、下の列に 2 ヶ所の合計 4 ヶ所以上で固定してください。

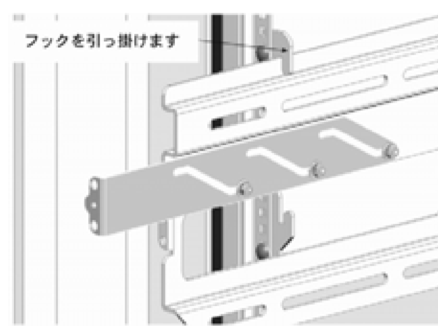


1. ディスプレイを取りつける場所に壁プレートをあてがいます。ディスプレイのセンター位置をスミ出ししている場合は、壁プレートセンター位置は中央の丸穴とひし形の穴を結んだ位置になるように合わせてください。
2. 小さい釘かビスを用いて壁プレートのセンターホールを仮止めします。
3. 壁プレートの水平出しをした後、ドリルで壁プレートを固定するための穴を開けます。
4. ボルトアンカーなどを用いて壁面にボルト施工し、壁プレートを固定します。
5. スライドラッチは両側とも外側に引き出しておいてください。

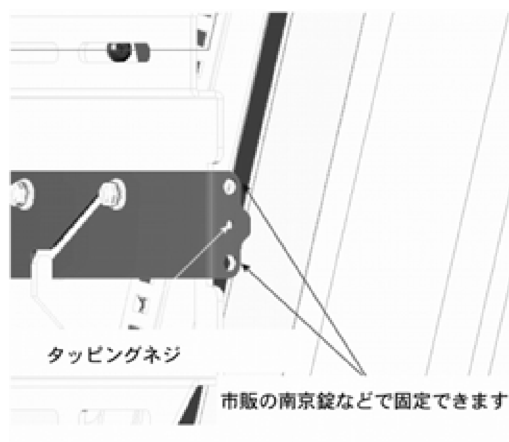












ディスプレイの取りつけ

1.(2)ディスプレイインターフェイスに(3)固定フックを取りつけた状態のディスプレイを、(1)壁プレートに引っ掛けます。この状態でディスプレイを軽く持ち上げるようにすれば水平位置を調整することができます。ケーブル類もこのときに接続して下さい。

2.スライドラッチを押しこんでロックします。このとき、押しこめないときや引っかかる感じがあるときはディスプレイの下側を軽く壁面に押しつけるようにしながらスライドラッチを押しこみます。スライドラッチがきちんとセットされた状態ですとディスプレイを持ち上げようとしても動かない状態となります。

3.スライドラッチの中央部分にタッピングビスを取りつけます。防犯上の必要に応じて南京錠などを上下の穴に取り付けることもできます。

4.ディスプレイの傾斜角度は適宜調整できますが、動きが軽すぎるようでしたら傾斜角度調整のノブを強く締めてください。なお、角度調整後固定状態にすることはできません。

お問い合わせ先 (株) 映像センター

- システム販売事業部 (東京) TEL 03-3532-4633
- 名古屋支店 TEL 052-322-5791
- 大阪支店システム販売課 TEL 06-6583-9013